

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

| NO | 会計 | 款 | 項 | 目 | 施策 | 事務事業名 | 担当課 | 主要 施策 対象 | うち多 額の 経費 対象 | ①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など) | 30年度決 算額[千 円] | 元年度決 算額[千 円] | 総合評価 | ①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容 | 2年度予算 額[千円] |
|----|----|---|---|---|-----------|-----------------|-------|----------------|-----------------------|--|---------------------|--------------------|--------|--|----------------|
| 1 | 一般 | 9 | 1 | 1 | 234消防力の強化 | 消防事務に要する経費 | 消防総務課 | | | ①災害活動に必要な装備品及び資機材の整備、消防被服の貸与。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、計画的な資器材整備を継続する必要がある。 | 94,892 | 98,785 | 6精査・検証 | ①市民の安全で安心な生活を守るため、消防活動に必要な資機材、装備品は必要不可欠である。 ②災害件数の増加及び訓練による消耗を勘案し、円滑な業務遂行を維持しつつ、今後も継続した経費削減を図る。 | 77,649 |
| 2 | 一般 | 9 | 1 | 1 | 234消防力の強化 | 消防庁舎の管理運営に要する経費 | 消防総務課 | | | ①消防庁舎各種設備の保守管理業務委託 ②消防施設機器の管理及び良好な職場環境の保持は、消防活動拠点機能維持に必要であり、継続する必要がある。 | 16,185 | 16,412 | 6精査・検証 | ①消防の任務遂行のため、消防庁舎機能の保持は必要不可欠であるため。 ②継続的に保守点検を実施し、防災活動拠点としての機能を維持する。 | 16,948 |
| 3 | 一般 | 9 | 1 | 1 | 234消防力の強化 | 職員研修に要する経費 | 消防総務課 | ○ | | ①消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得するため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の習得が必要である。 | 3,675 | 3,157 | 6精査・検証 | ①専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠であるため。 ②消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。 | 3,937 |
| 4 | 一般 | 9 | 1 | 1 | 234消防力の強化 | 消防車両更新事業 | 消防総務課 | ○ | ○ | ①消防活動を維持するために必要な、消防用車両及び車両積載品を更新整備する。 ②鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。 | 93,481 | 7,861 | 6精査・検証 | ①市民の安全安心のため消防車両等の更新は、継続していかなければならないため。 ②本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動が出来る車両を更新整備する。 | 57,435 |
| 5 | 一般 | 9 | 1 | 1 | 234消防力の強化 | 消防団車両更新事業 | 消防総務課 | ○ | ○ | ①消防活動を維持するために必要な、非常備用消防車両及び車両積載品を更新整備する。 ②鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。 | 0 | 19,614 | 6精査・検証 | ①市民の安全安心のため非常備用消防車両等の更新は、継続していかなければならないため。 ②本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動が出来る車両を更新整備する。 | 20,033 |